

## 魚見台というビューポイント

屋島の北嶺には 4 つの「魚見台」があり、それぞれから違う方向から瀬戸内海を一望することができる。魚見台は、古代の屋島の砦が船の接近を確認するための見張り台として使われていたと考えられている。その後、地元の漁師たちは魚見台に立って、大きな波紋、魚影や鳥の鳴き声など、魚の気配を察知し、いい漁場がどこにあるか仲間に合図を送っていた。

千間堂跡の近くにある南東の魚見台は屋島湾、五剣山、牟礼地区に面し、左手には瀬戸内海が広がっている。魚見台の下には、かつて漁村があったと思われる場所に小さな家が集まっている。また、有名な 1185 年の屋島の戦いの際に、平家が船を隠したとされる入り江も見渡せるようになっている。